令和８年度　市川中１年グランドデザイン



学年経営目標

中学生としての自覚をもち、
知・徳・体の調和のとれた「たくましい生徒」の育成

今年度の重点	今年度の重点取組及び分掌
確かな学力の育成 〇主体的に学習に向かい、学ぶことが楽しい授業づくり ・授業規律や学習方法を丁寧に指導し、安心して学び合える授業を行う ・ICT機器の活用やグループ活動を取り入れるなど、授業形態・授業内容を工夫する 〇探究的な「みさと学」を推進する 〇家庭学習の習慣化と内容の充実 ・自主学習ノートやテスト前学習の取り組みによる家庭学習の習慣化を図る ・個に応じた学習支援を行う 〇自分の進路に関心をもてる計画的なキャリア教育を推進する	・授業の評価を帰りの会の振り返りの活動に生かし授業を大切にする取組を行う。(佐野・切金) ・タブレット活用・グループ活動・対話の場面を取り入れた授業の工夫と改善を提案する。(佐野・切金) ・地域を知り、課題を見つけ、新しい発想でのアイデアを提案したり、発表する取組を行う。(全・丹沢) ・自主学習ノートの取組による家庭学習の習慣化を図ると共に、学びのPDCAサイクルを身に付け、内容が充実できるよう指導する。(佐野・切金) ・テスト前の「個別の取り組み表」を活用した取組の充実や、学習方法の助言など、個に応じた支援を行う。(全・佐野) ・「職場見学」「高校調べ」に取り組み、自分の進路を考える機会とする。様々な進路選択を知り、3年間の進路学習に見通しをもてる指導を行う。(丹沢)
豊かな心の育成 〇生徒一人ひとりの気持ちに寄り添う集団作り ・日常生活や行事等で多様な活躍の場面を設け、自分らしさを発揮し表現し、互いに認め、高め合う集団づくりを行う 〇互いを敬愛し、自他の幸せのために行動できる仲間づくり ・他者の意見を聴き、様々なことを自分事として捉え、多面的多角的に考え、判断できる心を育てる ・「自分事として考え議論を深める」道徳授業を実施する 〇福祉教育・ボランティアの推進 〇豊かな心を育む合唱活動、読書活動の推進 〇保護者や関係機関との積極的な連携 ・関係機関と連携し多くの人で生徒の成長を支える	・学級、学年活動や行事などで役割を担う多様な活躍の場を作り、自分らしさを発揮し、お互いの頑張りを認め合える場面を大切にする。(全) ・学級、学年、全校の仲間とのつながりの中で、リーダーを育て、よりよい方向に進む集団作りを行う。(全・佐野) ・道徳の授業を学年職員全員で担当し、人権を守りいじめを許さない心、平和について、自分事と捉え、学年全体で考え議論する授業を行う。(全・佐野) ・地域の方と連携した福祉講話を実施するとともに、ボランティア活動や防災訓練等への積極的な参加を図る。(切金) ・毎日のスマイルライフ等のやりとりや二者面談等を通じて、生徒一人一人の思いや考えを知り指導にあたる。(佐野・切金・廣瀬) ・多様な表現に触れ楽しさを体験できる合唱活動、読書活動の機会を設け推進する。(切金・廣瀬) ・生徒に必要な専門機関との積極的な連携を図る。(丹沢)
健康・安全 〇中学生としての生活習慣を身に付け、自ら行う健康管理の推進 〇SNSの使い方をはじめとした自ら考える情報リテラシー教育 〇部活動を通じた心身の健康の向上 〇生徒と教師で共に進める校内の環境美化	・自己管理ができるように、自分の生活リズムや食生活を見つめ、課題の解決を行う学習の機会を設ける。(切金) ・生徒会「SNS宣言」をもとに、メディアや情報の正しい利用のあり方について自ら考える学習の機会を設ける。(佐野) ・部活動の年間計画に見通しをもち、メリハリをつけた安全で効率的な部活動を行い、心身の健康の向上を図る。(全) ・生徒会重点活動の清掃活動を師弟同行で行う。自分たちが生活する校内の環境美化に努める。(切金・廣瀬)
地域との連携 〇保護者との連携 ・保護者への丁寧な情報共有を行い、共通認識を図り、生徒の成長を支援する 〇地域社会の一員としての積極的活動の推進 ・「みさと学」の推進と、地域学校協働本部と連携した活動を実施する	・学級、学年通信を適宜発行したり、やりとり帳で学校の様子を保護者に伝えたり、必要に応じて家庭訪問を行い共通認識をもって生徒指導にあたる。(佐野・切金・廣瀬・丹沢) ・「みさと学」に取り組み、本部と連携して地域産業の体験や史跡を巡る校外学習を実施し、地域の学習を深め広げる。(丹沢)